

第34回 日本義肢装具学会学術大会

開催期間 **2018.11.11日** 12:50~13:50

場 所 **名古屋国際会議場 第4会場 1号館4F 141+142**

ランチョンセミナー7

座長 吉矢晋一 (兵庫医科大学 整形外科 教授)

OAとON; 膝の痛みにもどのように対応するか?

11月10日と11日に名古屋国際会議場で開催される第34回日本義肢装具学会学術大会(大会長 近藤和泉先生)の2日目にランチョンセミナーを共催いたします。本年7月にもご講演いただいた長野県の飯田整形ペインクリニックの飯田泰人先生にご登壇いただきます。「OAとON; 膝の痛みにもどのように対応するか?」というテーマで、我々が日頃多く耳にする(目にする?)膝の痛みについて、膝OAによるものなのか、骨壊死によるものなのか、それぞれの疾患についてまでを含めてお話しいただけます。

多くのMRI画像を用いた飯田先生のご講演には、前回多くの反響を頂きました。何気なく接していた疾患の奥深さを学べた喜びと共に、「わかりやすかった」という声が多く届きました。皆様の臨床に即した話題を是非直接ご確認ください。



飯田整形ペインクリニック
整形外科、麻酔科、リウマチ科

演者 **飯田 泰人**
(医学博士)

(抄録より抜粋)

～しかし、ひどい内反膝(O脚)の患者の多くは疼痛を訴えることがなく、一方し線上変形がないにも関わらずひどい膝の痛みを訴える患者がいることも確かだ。近年のMRI検査の普及によりひどいOA患者で変形や骨棘の他に異常を認めないのに、後者で骨髄浮腫や骨壊死像を認めることである。

最近、このような病態は膝骨壊死(ON膝)であると広く認識されつつある。ON膝は病期の進行が早く、早期に病変部への荷重軽減を図らなければ壊滅的な破壊に至るとAhlbäckらは指摘していた(1968)。2011年Montらは、TKAに至ったOA膝の多くはON膝だった可能性があると報告している。当院では、そのような患者に対して除痛と病態悪化を防ぐ目的で、アラインメントを矯正し、罹患部への免荷を目的とし、しかも装着感に優れたunlorded braceを用いて極めて良い成績を収めていること報告すると共に、OA膝の病期進行に関わる潤滑因子Lubricinの最近の話題を呈示する。



Unloader One

整理券

セミナー開催当日、整理券を配布いたします。
先着順となりますので、定員に達し次第、締め切らせていただきます。
セミナー会場へのご入場、お弁当の配布は、整理券をお持ちの方が優先となりますが、整理券はセミナー開始後5分で失効となりますので、お早めにご来場ください。
なお、失効後はお弁当をお渡しできない場合がありますが、セミナー会場にはお入りいただけます。
開設時間: 11月11日(日) 7:00~11:30
開設場所: 名古屋国際会議場 1号館1F アトリウム

認定単位

本セミナーでは次の日本整形外科学会 教育研修単位が取得可能です。
●受講必須分野 [12] 膝・足関節・足疾患
●受講必須分野 [13] リハビリテーション(理学療法、義肢装具を含む)
●受講取得単位(Re) 運動器リハビリテーション単位
※単位の取得には1単位あたり1,000円の受講料が必要です。